

# 日韓の係争地

# “竹島”



島根縣後地郡五箇村竹島

海上保安庁では去る六月下旬 島根県庁官吏と共に同島に上陸 高さ約三米の標柱を建てた



日本海のケン粒ほどの無人島が、その国籍問題で日本と韓国にゴタゴタをひきおこしている。島根県境港から北西二百二十キロの沖合にある竹島がそれで、去る五月下旬、日本の水産試験船島根丸が海流調査の途中で同島に無断上陸の韓国漁民を発見して以来、果然問題になったもの。この島は明治三十八年二月、日本領土として正式に宣言されてから今日に至っている島だが、これに対して韓国側は、竹島は数世紀にわたり朝鮮領だった、日本の行政権停止を命じた総司令部指令（一九四六・一・二九）は竹島を日本の領土から排除している、マ・ラインは同島をその範囲外としたなどで同島の領有を主張、七月中旬には同島の巡視警戒に赴いた海上保安庁船に銃撃を加えた。最近、国連軍による朝鮮防衛水域の停止が声明され、日本漁船の出漁に明るい話題を投げている矢先、同島の帰属についてはつきりした解決が望まれている。

竹島は、東島と西島の二島と周辺の無数の岩礁からできている。写真は七月中旬、海上保安庁船が巡視のとき発見した韓国漁船の大成号



韓国漁民の不法上陸の報告を受けた海上保安庁第8管区から巡視船3隻が6月中旬同島へ派遣された。この第1次巡視で長さ約6米の漁船1隻と韓国漁民6名を発見した



6月27日同島で発見された韓国漁民たちは、上陸地点の小高い所に2坪程のテントを張り、炊事用の鍋釜のほか、毛布、更衣など23枚を持っていた



去る7月12日巡視船は4回目の巡視で、韓国漁船3隻（写真はその1隻）漁民約40名、韓国官憲4名を発見、同島の退去を要求したが、その直後に銃撃を受けた

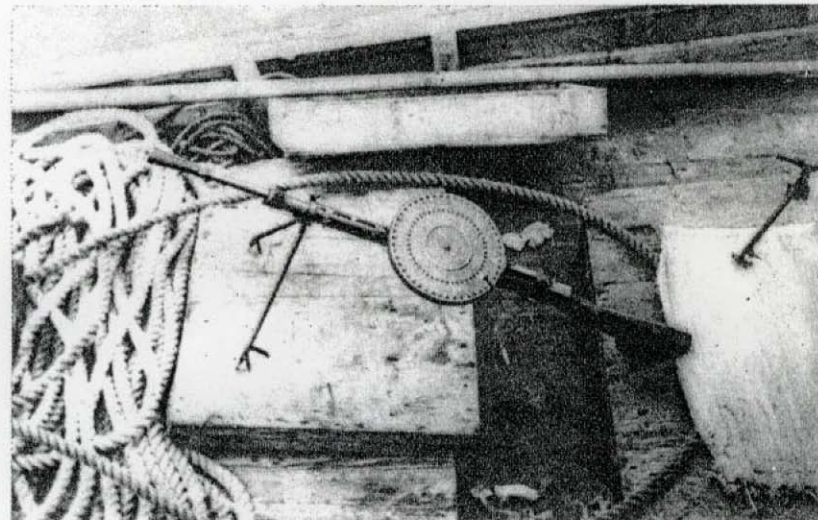
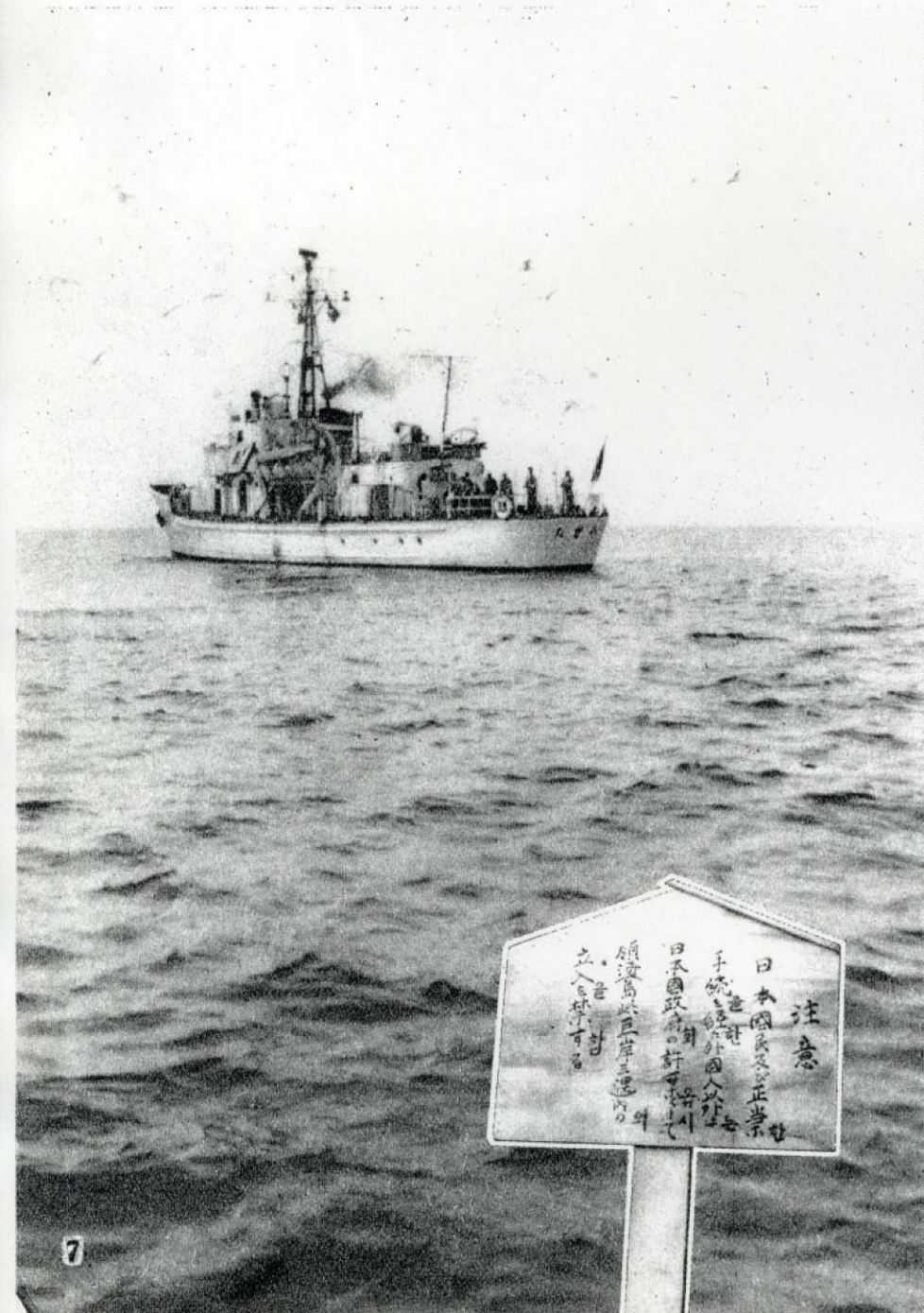
**DISPUTED TAKESHIMA ISLAND** Recently a patrol boat of the Japan Maritime Security Board was fired on by a South Korean fishing boat near Takeshima, a tiny island 12.5 miles off the northern coast of Western Japan, where about 40 Korean fishermen were found fishing. The Japanese Government says the island belongs to Japan because it was officially recognized as the Japan's territory in 1905. South Korea asserts it has been her territory for the past several centuries. Now that U.N. Commander General M. Clark lifted the Sea Defense Zone, and Takeshima Island is located outside it, the public hope the status of the island will be clarified for good.



6月中旬発見された韓国漁民6名は 調査の海上保安官に対して「約一カ月ほど前からウツリョウ島から仕事にきた帰船を待っている 島の帰属がどちらの国にあるかなどは知らぬ」と答えた ワカメ アワビなどを獲ったという



東島の中央部に 米軍の爆撃演習で遭難した韓国漁民の慰霊碑が韓国側の手で、壇紀4283年(昭25)建立、と記されてあつた



7月12日の銃撃事件の起る直前 巡視船へくら号上から撮影した韓国漁船大成号上の軽機 彼らは他にカービン銃 自働小銃を各1挺ずつ装備していた



7月12日巡視に赴いた「へくら」船上で 韓国側の出先機関(向つて右の二人)と 境海上保安部長(左)の間に会談が行われたが 互に領土権を主張するに止まった

最近海上保安庁巡視船(写真はながら号)が随時警戒監視に努めているが 日韓両国が微妙な関係にあるため警戒も慎重を極めている(立札は日韓両語で書かれている)